



# 補習校だより

平成29年度 第20号

平成29年10月7日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

## 前期を振り返って

今年の前期はハリケーン通過のために2日休校しましたので、予定を変えて本日、前期終業式と後期始業式を合わせて行います。これまでの半年間の生活はいかがだったでしょうか。補習校での学習や生活の様子、現地校生活とのバランスなど、この半年間の歩みを振り返って下さい。

本日お渡しする通知表には、補習校での学習や生活の様子、「よさ」や「まだ足りないところ、できていないところ」と共に、担任の指導・支援の様子や指導観を記載しています。担任の、お子さんに対する思いがたくさん詰まっています。「よさ」も「まだのところ」も受け止めて、お子さんを認め、褒め、励ましなが、成長につなげていただきたいと思います。

子どもを良い方向に導いていくためには、家庭と補習校とで連携して育てていくことが必要です。後期に、子ども達の力をさらに伸ばしていくため、よろしくお願ひします。

## 運動会応援審査

今年の応援合戦は“得点種目”にしました。来賓の方を中心に応援審査を行い、紅白の得点とします。

何のために応援するのかという目的は言うまでもなく「競技の応援」ですし、「同じグループ（組）になった自分達に、“頑張ろう！”と自分達自身で応援する」とともに、

「相手のグループの“頑張り”も応援する」ことです。その目的に向かって目標を持たせて子どもの意識を高めたいと思います。応援の様子が点数に反映されるならそれが目標となり、目標に向かって練習を計画し努力を重ねる、という意欲に結びついていきます。

もちろん応援自体をきらびやかにして見栄えを良くすることを狙っているわけではありません。応援する子ども達の様子を評価します。そこで、審査の観点としては目標達成に向けて子ども達が一生懸命、必死に取り組んでいるか、ということになります。

具体的には、（1）声の大きさ（2）声や動きが揃っているか（3）真剣に取り組んでいるか

この3点を審査基準にして評価します。もちろん応援団だけでなく、全員のパフォーマンスも評価対象です。

子ども達には、努力して「事を成し遂げた」後の充実感を味わってほしいと思います。



【勢揃いした今年の紅白応援団～結団式】